

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【公開番号】特開 2005-187466 (P2005-187466A)

【公開日】平成 17 年 7 月 14 日 (2005.7.14)

【年通号数】公開・登録公報 2005-027

【出願番号】特願 2004-352913 (P2004-352913)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/67 (2006.01)

A 6 1 K 8/72 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 7/48

A 6 1 K 7/00 H

A 6 1 K 7/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 22 日 (2007.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

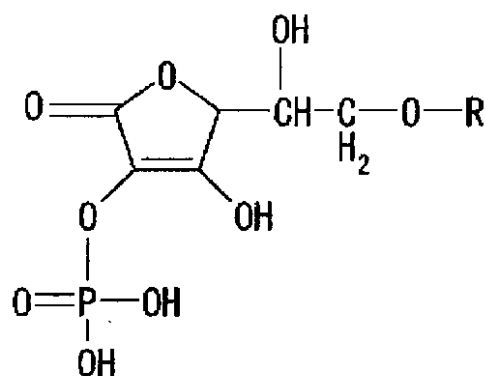
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記式 (1)

【化 1】



・・・式 (1)

(式 (1) 中、R は、高級脂肪酸残基を表わす。) で示されるアスコルビン酸 - 2 - リン酸エステル的高级脂肪酸エステルの塩 (A) と、水溶性合成高分子化合物 (B) と、水 (C) とを含有することを特徴とする皮膚外用剤。

【請求項 2】

水溶性合成高分子化合物 (B) が、複数のエチレン性不飽和炭素 - 炭素結合が開裂されてなる炭素鎖を主鎖として有する重合体であることを特徴とする請求項 1 に記載の皮膚外用剤。

【請求項 3】

水溶性合成高分子化合物 (B) が、カルボキシビニルポリマーおよび / またはポリアクリル酸ナトリウムであることを特徴とする請求項 2 に記載の皮膚外用剤。

【請求項 4】

水溶性合成高分子化合物 (B) の GPC (ゲルパーミエーションクロマトグラフィー) で測定されるポリスチレン換算の平均分子量が、1,000 ~ 20,000,000 の範囲にあることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の皮膚外用剤。

【請求項 5】

上記式 (1) 中の R が、炭素原子数 8 ~ 22 の脂肪酸残基であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の皮膚外用剤。

【請求項 6】

上記式 (1) 中の R が、ラウリン酸、ミリスチン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、2 - ヘキシルデカン酸またはイソステアリン酸の残基であることを特徴とする請求項 5 に記載の皮膚外用剤。

【請求項 7】

上記式 (1) 中の R が、パルミチン酸の残基であることを特徴とする請求項 6 に記載の皮膚外用剤。

【請求項 8】

上記式 (1) 中の R が、2 - ヘキシルデカン酸の残基であることを特徴とする請求項 6 に記載の皮膚外用剤。

【請求項 9】

アスコルビン酸 - 2 - リン酸エステル的高级脂肪酸エステルの塩 (A) が、Na 塩、K 塩、Mg 塩または Zn 塩であることを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の皮膚外用剤。

【請求項 10】

アスコルビン酸 - 2 - リン酸エステル的高级脂肪酸エステルの塩 (A) が 0.01 ~ 20 質量% の量で含有されていることを特徴とする請求項 1 ~ 9 のいずれかに記載の皮膚外用剤。

【請求項 11】

水溶性合成高分子化合物 (B) が、0.001 ~ 3 質量% の量で含有されていることを特徴とする請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の皮膚外用剤。

【請求項 12】

水 (C) が、20 ~ 99.5 質量% の量で含有されていることを特徴とする請求項 1 ~ 11 のいずれかに記載の皮膚外用剤。

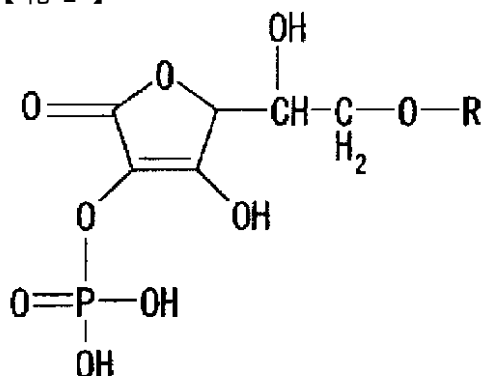
【請求項 13】

化粧品であることを特徴とする請求項 1 ~ 12 のいずれかに記載の皮膚外用剤。

【請求項 14】

下記式 (1)

【化 2】



・・・式 (1)

(式 (1) 中、R は高級脂肪酸残基を表わす。) で示されるアスコルビン酸 - 2 - リン酸エステル的高级脂肪酸エステルの塩 (A) を安定化する方法であって、

少なくとも水溶性合成高分子化合物 (B) と水 (C) とを含む組成物と、

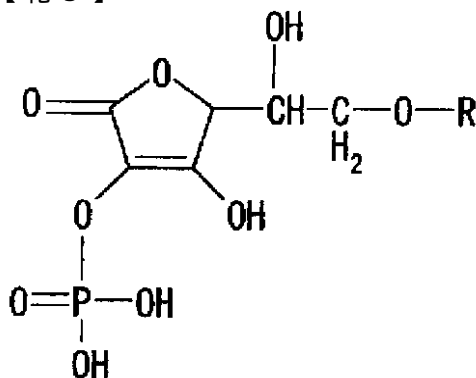
前記アスコルビン酸 - 2 - リン酸エステルの高級脂肪酸エステルの塩 (A) とを接触させることを特徴とする安定化方法。

【請求項 15】

水溶性合成高分子化合物 (B) を含んでなることを特徴とする

下記式 (1)

【化 3】



・・・式 (1)

(式 (1) 中、R は、高級脂肪酸残基を表わす。) で示されるアスコルビン酸 - 2 - リン酸エステルの高級脂肪酸エステルの塩 (A) の安定化剤。

【請求項 16】

さらに水 (C) を含むことを特徴とする請求項 15 に記載の安定化剤。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

[3] 水溶性合成高分子化合物 (B) が、カルボキシビニルポリマーおよび / またはポリアクリル酸ナトリウムであることを特徴とする前記 [2] に記載の皮膚外用剤。

[4] 水溶性合成高分子化合物 (B) の GPC (ゲルパーミエーションクロマトグラフィー) で測定されるポリスチレン換算の平均分子量が、1,000 ~ 20,000,000 の範囲にあることを特徴とする前記 [1] ~ [3] のいずれかに記載の皮膚外用剤

。

[5] 上記式 (1) 中の R が、炭素原子数 8 ~ 22 の脂肪酸残基であることを特徴とする前記 [1] ~ [4] のいずれかに記載の皮膚外用剤。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

[6] 上記式 (1) 中の R が、ラウリン酸、ミリスチン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、2 - ヘキシルデカン酸またはイソステアリン酸の残基であることを特徴とする前記 [5] に記載の皮膚外用剤。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

[7] 上記式 (1) 中の R が、パルミチン酸の残基であることを特徴とする前記 [6] に記載の皮膚外用剤。

[8] 上記式 (1) 中の R が、2 - ヘキシルデカン酸の残基であることを特徴とする前記 [6] に記載の皮膚外用剤。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

[9] アスコルビン酸 - 2 - リン酸エステル的高级脂肪酸エステルの塩 (A) が、Na 塩、K 塩、Mg 塩または Zn 塩であることを特徴とする前記 [1] ~ [8] のいずれかに記載の皮膚外用剤。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

[10] アスコルビン酸 - 2 - リン酸エステル的高级脂肪酸エステルの塩 (A) が 0 . 01 ~ 20 質量 % の量で含有されていることを特徴とする前記 [1] ~ [9] のいずれかに記載の皮膚外用剤。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

[11] 水溶性合成高分子化合物 (B) が、0 . 001 ~ 3 質量 % の量で含有されていることを特徴とする前記 [1] ~ [10] のいずれかに記載の皮膚外用剤。

[12] 水 (C) が、20 ~ 99 . 5 質量 % の量で含有されていることを特徴とする前記 [1] ~ [11] のいずれかに記載の皮膚外用剤。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

[13] 化粧品であることを特徴とする前記 [1] ~ [12] のいずれかに記載の皮膚外用剤。

[14] 下記式 (1)

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

[15] 水溶性合成高分子化合物 (B) を含んでなることを特徴とする
下記式 (1)

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

[1 6] さらに水（C）を含むことを特徴とする前記 [1 5] に記載の安定化剤。